

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# 無人駅5割に増加—「障害者の移動の自由制限」と裁判も

## ワンマンで車掌も駅員もなくすのか

### 無人駅拡大が人権問題に

駅員不在で障害者の方の乗り降りに支障がでることが問題になっていきます。

「無人駅が5割に増加」（11月16日付朝日新聞）と報じられています。20年3月時点で9465駅のうち無人駅は4564駅で48・2%まで増加しています。また、都市部を含めて日中だけ駅員がいる「時間帯無人駅」も広がっています。

この中で、大分市では車椅子生活を送る人たちが、JR九州に対して「駅の無人化によって移動の自由を制限されたのは違法だ」という裁判をおこしてもいます。「自分が駅を利用しない方がもうかると思っているのか」「自分の人権や生活が無視されるのは悔しい」と訴えています。

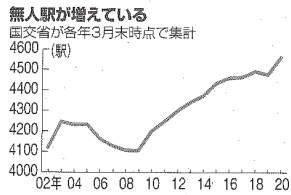
### 無人駅5割に増加

駅員が終日いない「無人駅」の数が約20年間で1割増え、2020年3月時点で全体の5割近くになっていることが、国土交通省の集計でわかった。経営状況が厳しい地方鉄道に加え、都市部では一部時間帯に限った無人化も進む。駅員が不在になり、電車の乗り降りに支障を訴える障害者も少なくなく、国土交通省は鉄道事業者向けのガイドラインづくりを始めた。

### 障害者、利用に支障

国土交通省が鉄道会社の各年一計した。データを取り始めて未だの駅数と無人駅数を集めた02年3月には全国で95

国土交通省集計



2020/11/16 朝日新聞

路線	無人・簡易委託駅	割合
内房線（木更津～安房鴨川）	22駅中 8駅	36%
外房線（上総一ノ宮～安房鴨川）	15駅中 6駅	40%
木更津～上総一ノ宮	36駅中 14駅	39%
鹿島線（佐原～鹿島神宮）	6駅中 4駅	67%

※安房鴨川（有人）は内房・外房の両方でカウント。

都市部でも「時間帯無人駅」が広がっている。内房線の浜野、八幡宿、長浜は早朝無人駅。

あり、地域で生活するため社会的インフラです。優先して安全や乗客の生活を切り捨てること、はなまりません。

### ワンマン運転拡大の中止を

JR千葉支社は3月ダイ改で内房・外房・鹿島線にワンマン運転を導入するとしています。しかし、ワンマン化対象の区間も無人駅（内房線7駅、外房線6駅、鹿島線3駅）や簡易委託駅（内房線1駅、鹿島線1駅）が増えています。また他の多くの駅もすでに外注化されています。

駅員不在が問題になっているのに、利益のためだけに車掌まで削減するなど根本的に間違っています。鉄道は公共交通機関で